

University of Tsukuba  
**SIS SUMMER SEMINAR**

2017 in 山中湖



2017/9/8-9/9

## 目次

■宿泊場所 Accommodation .....	2
■参加者 participants .....	3
■車移動の班編成 .....	4
■ゼミ発表 Seminar 1日目:9/8(Fri)13:00～ .....	5
■巡検ルート Excursion 2日目:9/9(Sat) .....	6
① 山中湖 .....	7
② 青木ヶ原樹海・富岳風穴 .....	8
③ 印沢川(天井川) .....	9
④ 甲州ほうとう竜王玉川店(昼食):山梨県の郷土料理「ほうとう」 .....	10
⑤ 笛吹川フルーツ公園(合流扇状地の展望)－The Fuefuki River .....	11
⑥ Industries of Yamanashi-ken .....	14
⑦ ぶどうの丘(勝沼) .....	16
■駐車場案内図 .....	18

■宿泊場所 Accommodation

山中共同研修所(岳東寮)

住所: 〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野 479

電話番号: 0555-62-0309



出所: <http://www.tsukuba.ac.jp/access/gmap/gmap.php?i=660010>

■参加者 participants(29 名)

村山先生、森本先生、学生 23 名(男 male 13 名、女 female 10 名)、OBOG 4 名

#	氏名	学年	性別
#	村山祐司先生	先生	男
#	森本健弘先生		男
1	Siriwardana Halgamage Malinda	D3	男
2	連 美綺		女
3	LIU Kai		男
4	龔 浩		男
5	Ranagalage Manjula Mahinda	D2	男
6	Hepi Hapsari Handayani		女
7	DM Sanjeewa Lasantha Bandara Dissanayake	D1	男
8	WANG RUCI		女
9	鄭 紫来	M2	女
10	呂 曉凱		男
11	劉 斐		女
12	岩井優祈	M1	男
13	竹原繭子		女
14	長崎宏輝		男
15	吉田 真		男
16	Senevirathne Gamlakshage Nuwan Lasantha		男
17	鬲 瑶		女
18	曾 宇霆		男
19	張 楠楠		女
20	鄭 映秋		女
21	Tamba Sahr Dauda		男
22	張 雲奇	研究生	男
23	張 詩遙		女
24	奥 啓彰	OB OG 関係者	男
25	佐藤 亮吾		男
26	張 カンロ		女
27	ソウ ゲンフ		男

## ■車移動の班編成

### ○学系ワゴン(8人乗り、運転者:森本先生)

1	森本健弘先生	5	吉田 真
2	連 美綺	6	鄭 映秋
3	Hepi Hapsari Handayani	7	Tamba Sahr Dauda
4	Ranagalage Manjula Mahinda		

### ○Malindaさんの車(8人乗り、運転者:Malindaさん)

1	Siriwardana Halgamage Malinda	5	竹原繭子
2	DM Sanjeewa Lasantha Bandara Dissanayake	6	鬲 瑶
3	鄭 紫来	7	Senevirathne Gamlakshage Nuwan Lasantha
4	劉 斐		

### ○レンタカー①(8人乗り、運転者:岩井優祈)

1	岩井優祈	5	曾 宇靈
2	LIU Kai	6	張 詩遥
3	WANG RUCI	7	張 雲奇
4	呂 曉凱		

### ○レンタカー②(8人乗り、運転者:長崎宏輝)

1	長崎宏輝	5	張 カンロ
2	村山祐司先生	6	ソウ ゲンフ
3	龔浩		
4	張 楠楠		

### ○レンタカー③(2名、運転者:奥 啓彰)

1	奥 啓彰	2	佐藤亮吾

■ゼミ発表 Seminar 1 日目:9/8(Fri)13:00～

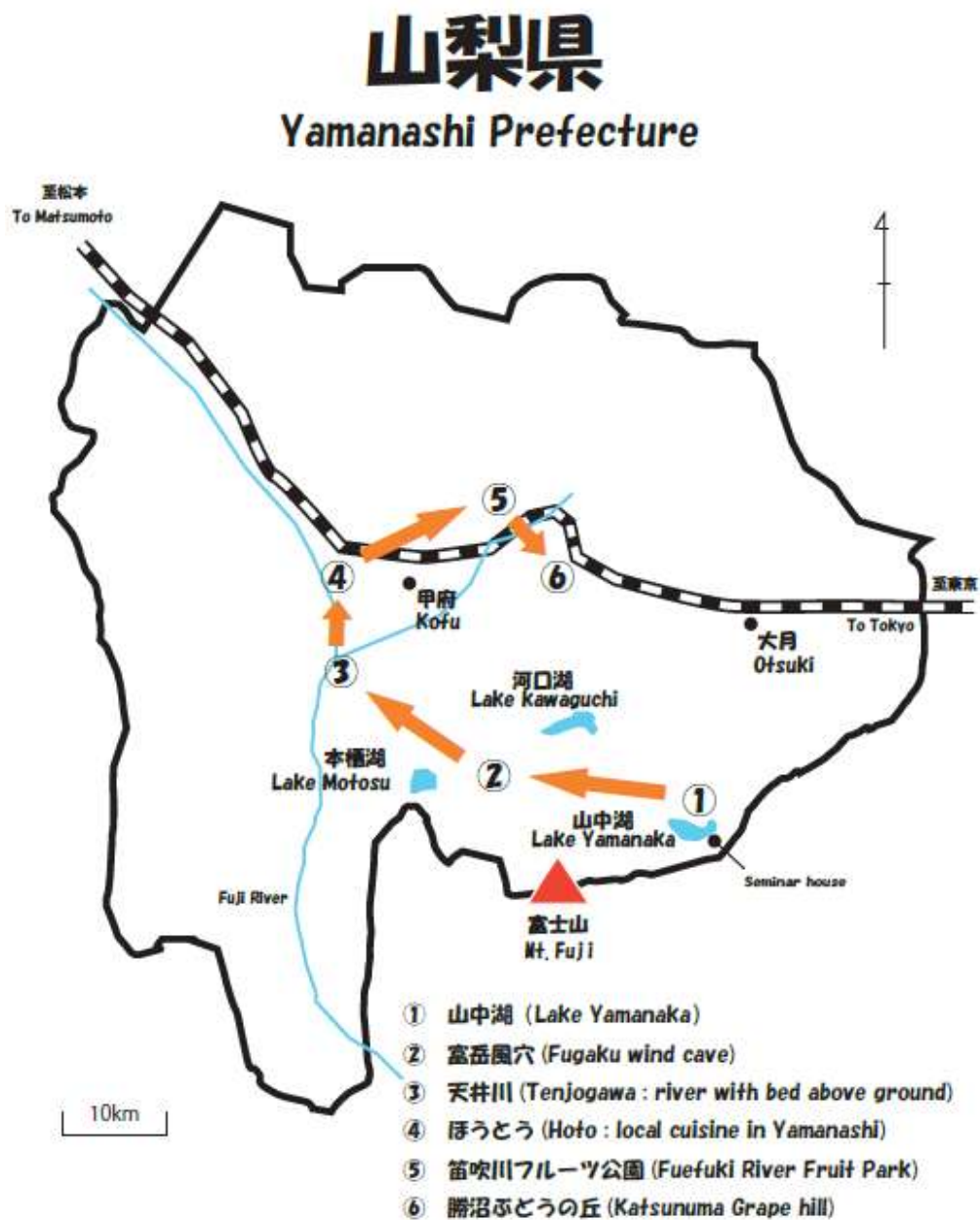
D3・D2・M2:15 minutes D1・M1・RS:10 minutes (include Q&A)

#	TIME	NAME	学年
1	13:00-13:15	Siriwardana Halgamage Malinda	D3
2	13:15-13:30	連美綺	
3	13:30-13:45	LIU Kai	
4	13:45-14:00	龔浩	
5	14:00-14:15	Ranagalage Manjula Mahinda	D2
6	14:15-14:30	Hepi Hapsari Handayani	
7	14:30-14:45	鄭紫来	M2
14:45-15:00 休憩			
8	15:00-15:15	呂曉凱	M2
9	15:15-15:30	劉斐	
10	15:30-15:40	DM Sanjeewa Lasantha Bandara Dissanayake	D1
11	15:40-15:50	WANG RUCI	
12	15:50-16:00	岩井優祈	M1
13	16:00-16:10	竹原繭子	
14	16:10-16:20	長崎宏輝	
16:20-16:35 休憩			
15	16:35-16:45	吉田 真	M1
16	16:45-16:55	Senevirathne Gamlakshage Nuwan Lasantha	
17	16:55-17:05	鬲 瑶	
18	17:05-17:15	曾 宇霆	
19	17:15-17:25	張 楠楠	
20	17:25-17:35	鄭 映秋	
21	17:35-17:45	Tamba Sahr Dauda	

■巡検ルート Excursion 2日目:9/9(Sat)

- ① 山中湖 Lake Yamanaka
- ② 富岳風穴・青木ヶ原樹海  
Fugaku Wind Cave, Aokigahara Jukai
- ③ 印沢川(天井川) Inzawa river (Raised bed river)
- ④ 甲州ほうとう竜王玉川店(昼食) Koshu Hoto (lunch)
- ⑤ 笛吹川フルーツ公園(合流扇状地の展望)  
Fuefuki River Fruit Park (Observation of Alluvial fan)
- ⑥ ぶどうの丘(勝沼) Hill of Grape (Katsunuma)

○巡検の全体ルート地図



## ① 山中湖



富士山のふもとにある山中湖は、周囲をなだらかな山々に囲まれた明るい湖である。富士山の北東で近いところに位置しており、富士五湖のひとつである。面積は 6.57km<sup>2</sup>あり、富士五湖の中で最大の面積を持っている。また、湖面の標高は 980.5mと富士五湖の中では最も高い位置にあり、日本全体でも第3位である。一方、水深は富士五湖の中で最も浅い 13.3m 前後である。また、山中湖は富士五湖で唯一天然の流出河川を持った湖でもある。湖面の形は北を上にして見ると鯨の形に似ている。「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」の構成資産の一部として世界文化遺産に登録されている。

800 年(延暦 19 年)に延暦の大噴火により流出した溶岩流のひとつである鷹丸尾(檜丸尾第二)溶岩(噴出点は未詳の側火口)が桂川を堰止め、山中湖が形成された。なお、かつて宇津湖という大きな湖があり、この溶岩流で山中湖と忍野湖(古忍野湖)に分かれたという俗説があるが、標高差の地形的観点および山梨県環境科学研究所のボーリング調査により、この湖の存在は否定されている。

山中湖は朝夕の風景や富士山の眺望スポットが多数存在すること等から観光地として人気があり、年間約 400 万人の観光客が訪れる。朝夕や夕方には湖畔に写真撮影に訪れる人や、春夏期には貸自転車や貸ボートを楽しむ観光客を多く目にする。13.5 キロメートルある湖を中心にひろがる山中湖村は、総面積 53.05 平方キロメートルあり、山中、平野、長池、旭日丘の 4 地区で構成されている。村の大半は、標高 1,000 メートル前後のなだらかな起伏の高原地帯で、南西には富士山が間近にそびえている。

夏の平均気温は 20 度前後と過ごしやすく、はやくから避暑地としてひらいた。山中湖村の人口は 5,800 人ほどだが、別荘は約 3,800 軒、学校や会社などの寮は約 1,000 軒、ホテル、旅館、民宿、ペンションなどは大小あわせて 2,500 軒以上ある。年平均では東京と 7 度以上の差がある。また内陸部に位置して 1 日の寒暖の差が激しいため、真夏でも熱帯夜となることはない。山中湖に行く際には、東京と比べ 5 度以上涼しいと認識する必要がある。豊かな自然にも恵まれた四季折々の美しさがある。

(執筆: 髙 瑤・曾 宇霆)

### 山中湖案内図





## ② 青木ヶ原樹海・富岳風穴

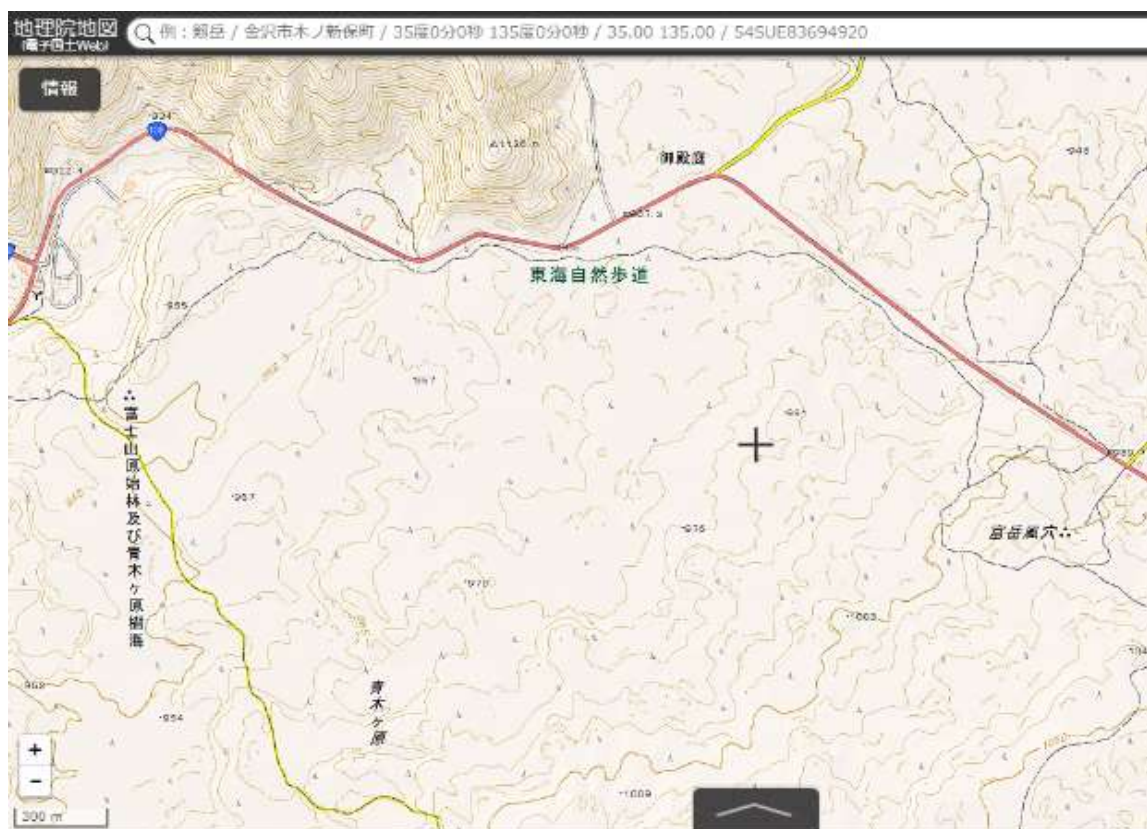
### ○青木ヶ原樹海

山梨県富士河口湖町と鳴沢村に位置する森であり、富士山の北西に位置する。古くから富士の樹海と呼ばれる。樹海に入ると抜け出せないというような俗説があるが、周辺にはキャンプ場や遊歩道などの観光地もあり、普通に歩く分にはそのような雰囲気はない。しかし、遊歩道から離れた場合、広大な森のため遭難の危険がある。抜け出せないといわれる要因として方位磁針の狂いがあるが、溶岩上に位置するため溶岩中の磁鉄鉱などに引かれ、方位磁針に若干のずれが生じるが、方向が分からなくなるほどではないという。

### ○富岳風穴

洞窟内と外の気温差により生じる風の流れる洞窟のことである。この富岳風穴は溶岩でできた洞窟であり、約1200年前に富士山の側火山である「長尾山」という山の噴火によって流れ込んだ溶岩が固まって形成された。総延長は201m、高さは最大8.7mの横穴であり、往復所要時間は徒歩で約15分である。洞窟内の気温は一年を通して0~3度であり、非常に寒いので上着を持参することが推奨される。

大正時代にはこの風穴を養蚕業の場として利用していた。蚕は冬を越え暖かい春が来ると孵化するため、洞窟の内外の気温差を利用し、蚕に勘違いさせることで一年中蚕を作ることができるとした。



図：青木ヶ原樹海と富岳風穴の位置関係（地理院地図より）

参考

- <http://japan-web-magazine.com/fugaku-fuketsu>

（執筆：長崎宏輝）

### ③ 印沢川(天井川)

#### I. 天井川の概要

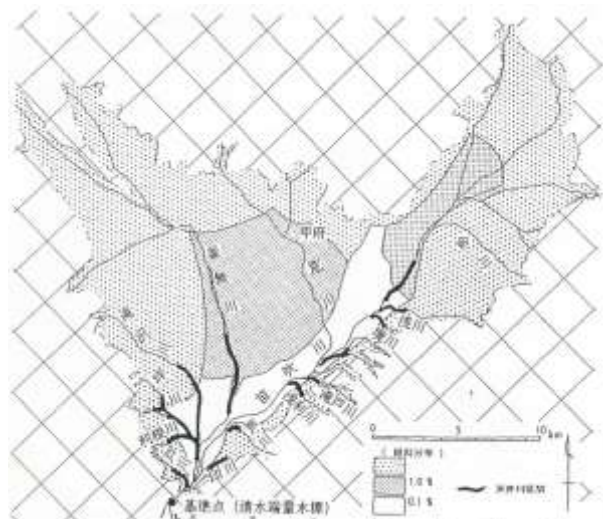
天井川とは「堤防内の砂礫堆積の進行により、河床面が周辺平野よりも高くなった河川」である。国内では甲府盆地や養老山地の東麓、京都盆地南部の木津川の支流、近江盆地の琵琶湖に注ぐ河川、六甲山地南麓の河川、岡山平野などの地域で観察できる(できた)。天井川のメカニズムについては従来から以下のような説明がなされてきた。

- ① 築堤により河道を固定する
- ② 砂礫の供給・堆積の盛んな河川では堤防内の堆積が進行し、河川が上昇する
- ③ 河川の氾濫を防ぐために堤防のかさ上げが図られる
- ④ ②～③を繰り返すことにより天井川が形成される

#### II. 甲府盆地における天井川の特徴

##### 1). 釜無川水系と笛吹川水系

甲府盆地における天井川は東部から南部を流れる河川に集中しており、釜無川水系と笛吹川水系にみられる。このような盆地内部の偏りは釜無川水系では本川である釜無川そのものが笛吹川との旧合流点(背割堤で分割される以前の合流点)より上流側で河床上昇して天井川化している。また、釜無川の支川は釜無川との合流点付近で天井川化している。一方、笛吹川水系については釜無川と同様に、笛吹川そのものが天井川化しているが、その区間は旧合流点よりもさらに 10 km以上上流であることが特徴である。また、笛吹川の支川については笛吹川天井川化区間の下流側に存在しており、その天井川化区間は笛吹川との合流点に近い部分に限定されている。さらに、笛吹川の支川は釜無川水系のものと比較して比較的北東部まで広い範囲に分布し、天井川化区間も極めて短いといった特徴がみられる(第1図)。



第1図 甲府盆地における天井川の分布と傾斜分布(斎藤・池田 1998、『甲府盆地における天井川の成因について』より)

※天井川の認定の基準を「河川の横断方向において河床面が河川に伴う微高地を除く周囲面より高い場合」とした。

##### 2). 印(沢)川

印川は笛吹川水系に属する河川であり、甲府盆地の中でもっとも顕著な天井川の形態を呈している。特に、西八代郡市川三郷町高田では河川の下にトンネルが掘られ、鉄道と道路が通じている(図2)。



写真1 印(沢)川下部を通る道路

#### 【参考文献】

斎藤健一・池田宏. 1998. 甲府盆地における天井川の成因について. 筑波大学推理実験センター報告 23. 35-49p.

(執筆: 吉田 真)

#### ④ 甲州ほうとう竜王玉川店(昼食):山梨県の郷土料理「ほうとう」

##### 「ほうとう」の歴史

生活での標準型であったようです。

「ほうとう」には、さまざまな云われや歴史があり、自然発生説や、いくつかの諸説がありその一部をご紹介します。

##### 「ほうとう」のレシピ

平安時代に、こねた小麦粉を麺棒で細長く延ばし、煮込んだうどん「鱧鮎」（ハクタク）の音が転じて「ほうとう」に変わったものであると言われています。

清少納言の「枕草子」にも「熟瓜（ホゾチ）ほうとう参らせんなどとどむるを」とあることなどから見ますと、奈良平安時代の頃、高僧（遣唐使）などによって、大陸から我が国にもたらされたと考えられます。

山梨県の大部分が山地であるため、水田が少なく米飯は貴重な食べ物でした。代わりによく食べられたのがこの「ほうとう」です。食生活の中心となり、昔は「ほうとうの麺を打てないと一人前でない」と言われ、嫁入り修行の第一歩であったようです。

郷土食として、これほど普及しているものも少なく、「朝はおねり、昼は麦飯、夜はカボチャのほうとう」というのが長い間甲州農村の日常

① 生のほうとう：300g、水：1.5リットル、味噌：適量

② 大きめの鍋に1.5Lのお湯を入れ、だしの素等でだし汁を作ってください。

③ かぼちゃ、にんじん、里芋など煮えにくい季節の野菜を先に入れます。

④ 野菜がある程度柔らかくなりましたら、麺を半分の長さになり、ほぐしながら入れて、約10分煮込みます。

⑤ こんどは油揚げ、いんげん、長ねぎなどの煮やすい野菜を入れ、麺が柔らかくなるまで2～3分煮込みます。

⑥ 麺が柔らかくなりましたら味噌を入れて、煮込んで出来上がりです。

⑦ 完成です！！

※麺の打粉はとろみの素ですので、そのままゆでて下さい。

※味噌を先に入れますと麺が柔らかくならないことがあります。

(執筆: 鄭 映秋)

①	②	③	④
			
⑤	⑥	⑦	
			



## ⑤ 笛吹川フルーツ公園(合流扇状地の展望)－The Fuefuki River

The Fuefuki River known as Fuefukigawa is one of three major segments of the Fuji River network that made its way through Fuefuki city and other neighboring cities in Yamanashi Province. It runs almost parallel to the 140 highway along which exists several tourist attractions. Its major touristic features are the Shinmei fireworks display; The reenactment of the battle of Kawanakajima of the Sengoku period; Isawa hot spring village; Mitomi hot spring village; Erinji Temple; the Nishizawa keikoku Valley and Fruit Park.

The Shinmei fireworks display is an annual event that is usually held on 7th August in Ichikawa Misato, where the biggest fireworks show in the prefecture is performed for the past two decades. With over 20,000 fireworks launched, the main feature is the flowery firework explosion that stretches to about 500 meters in diameter. The explosion is powerful enough to make your body tremble. The entire event is held in a three county Hashimoto style along the Fuefuki river banks which attracted a crowd of over 200,000 people. It was reported that approximately 240,000 people witnessed the event last year.

The reenactment of the battle of Kawanakajima of the Sengoku period is a historical event where over 800 armor-clad warriors representing the respective armies of Shingen Takeda and his rival Kenshin Uesugi gather every year to reenact the largest battle of Japan's warring states period, that of Kawanakajima. The battle is actually five different battles fought in 1553, 1555, 1557, 1561 and 1564. The most famous

of the battles which is often used as the climax for many Japanese samurai films and games was fought in September 1961. The battle was fought along the river thus the reason for its reenactment at the river. Takeda Shingen hailed from the Kai province modern day Yamanashi prefecture and was called "The Tiger of Kai" due to his military prowess. Uesugi Kenshin came from the Echigo province modern day Niigata prefecture and was as famous for his administrative skills as he was for his honour and military expertise. Any healthy person above 16 years of age can participate in the reenactment which is usually held in mid-April. The Sengoku period lasted from 1467 until 1603 when Japan's political powers were unified under the Tokugawa Shogunate.

Fuefuki City is known for its two hot spring villages of Isawa and Kasugai, and is counted as one of the best tourist spots in Japan. The Isawa area is located in the east of the Kofu basin and boasts the highest peach and grape production in Japan. In the center of the hot spring area, the cherry blossom trees that line the river color the four seasons, and hot spring tourists can be seen enjoying themselves under their full bloom in spring. You can enjoy beautiful view of Mount Fuji while having a hot spring. It could be said that enjoying a soak in a hot spring after viewing cherry blossom in spring or fruit picking from summer to autumn which is August to October is a luxury only to be found in this area. The public hot spring of Mitomi-mura is a village of hot springs known as Fuefuki-no-yu located about the entrance of the village. Mitomi-mura is

in the valley of the Fuefuki River.

The Erinji Temple was established in 1330. Historically, it was one of the ten big temples in the Kanto district. Feudal lord Nikaido invited a Buddhism bishop Muso in the 2nd year of Gentoku, and his mansion was made a monastery. This temple prospered after the Buddhism bishop Kaisen trusted by Shingen became a master. Takeda Shingen presented a domain in this temple in 1564 and it was made his family temple. Today the temple is a nationally designated Place of Scenic Beauty containing a wooden sitting statue of Muso Kokushi which is a cultural property designated by the prefecture, the graves of Takeda Shingen and Yanagisawa Yoshiyasu where a memorial service for Shingen is held on 12th April each year. The treasure house contains many cultural properties related to Takeda Shingen including his helmet, war fan and flag. There you can enjoy Matcha green powdered tea which is a masterpiece of Muso Kokushi.

The Nishizawa Keikoku Valley is one of the most beautiful valleys of the Chichibu-Tama-Kai National Park, a park which covers more than 1250 square kilometers of forested mountains, hills, gorges and some rural towns in the prefectures of Yamanashi, Saitama, Nagano and Tokyo. As one of the biggest highlight of Mitomi-mura, it is a large extended valley of Oku-chichibu at the upper reach of the Fuefuki River. A hiking trail leads up the narrow Nishizawa Valley along an attractive mountain stream that passes through several waterfalls leading to the valley's highlight, the Nanatsugama-Godan-no-Taki. This is a

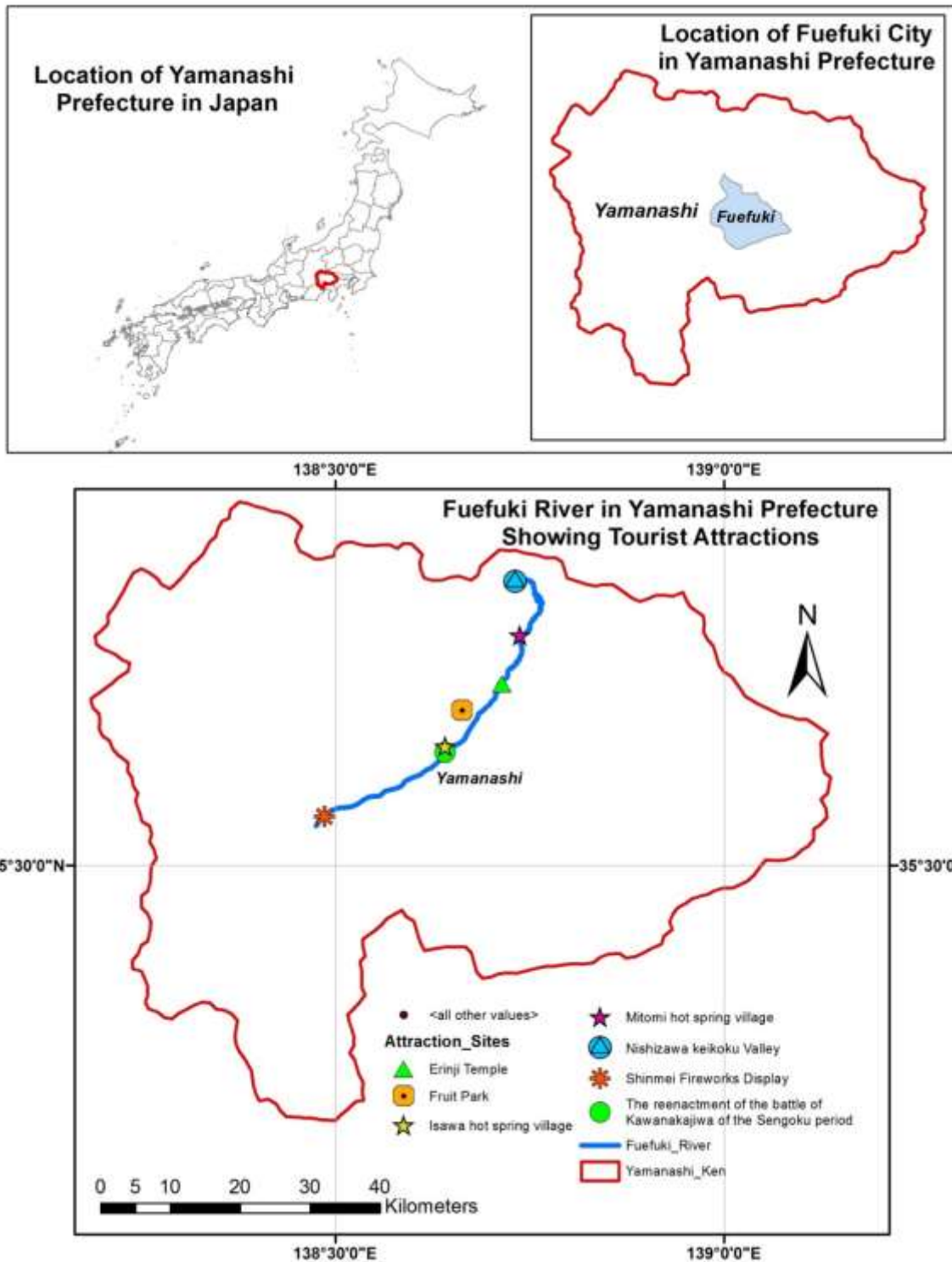
beautiful five tiered waterfall. The trail through the valley is steep at times, and sturdy shoes are recommended. A visit to the Nishizawa Keikoku is particularly beautiful during the autumn leaves season, which usually reaches its peak in late October and early November.

The Fuefuki River Fruit Park is very large and comprises a complex of facilities making the playground. In addition, there are orchard, road train and beautiful flower beds. The park is located on the mountain in Yamanashi with a perfect view endowed with refreshing air. Hence, the night view from this park is one of Japan's three biggest night views as the Kofu Basin can be seen from every angle of the park's slopes. Adults can have a good time with tasty foods, wine, hot spring, and so on while children also have abundance of an enriched amusement playground. The eight unique fruits of the old Kai Province which have long been produced as Yamanashi specialties are displayed in the fruit exhibition gardens and they include grapes, peaches, apples, pears, persimmons, ginkgo fruits, chestnuts and pomegranates. In addition, other small fruit shrubs are also being produced and displayed. These fruits are produced throughout the year and they are season-bound. For the month of September, the Strawberry and Grapes will be available in Fuefuki, Yamanashi. A 10-meter high semi-circular glass dome fruit plaza with a diameter of 55 meters and a floor space of 1,800 square meters hosts series of concerts and other events. In addition this bright all-weather indoor park glass dome attracts visitors throughout the year regardless of the season or weather as a children's play area and a resting place with meals and refreshments.

## References

- [http://www.jnto.go.jp/eng/location/spot/tic/img/s19021050\\_01.pdf](http://www.jnto.go.jp/eng/location/spot/tic/img/s19021050_01.pdf)
- <https://www.yamanashi-kankou.jp/foreign/english/english130.html>
- <http://www.yamanashi-kankou.jp/foreign/english/english034.html>
- <http://www.yamanashi-kankou.jp/foreign/english/area/isawa.html>
- <http://www.yamanashi-kankou.jp/foreign/english/spot/003.html>
- <http://www.japan-guide.com/e/e6951.html>
- [https://www.tripadvisor.com/ShowUserReviews-g1021451-d1238305-r232983855-Yamanashi\\_Fuehukigawa\\_Fruit\\_Park-Yamanashi\\_Yamanashi\\_Prefecture\\_Chubu.html#](https://www.tripadvisor.com/ShowUserReviews-g1021451-d1238305-r232983855-Yamanashi_Fuehukigawa_Fruit_Park-Yamanashi_Yamanashi_Prefecture_Chubu.html#)
- [http://www.yamanashi-kankou.jp/foreign/english/spot/p2\\_4460.html](http://www.yamanashi-kankou.jp/foreign/english/spot/p2_4460.html)
- <http://www.mapcruzin.com/free-japan-country-city-place-gis-shapefiles.htm>

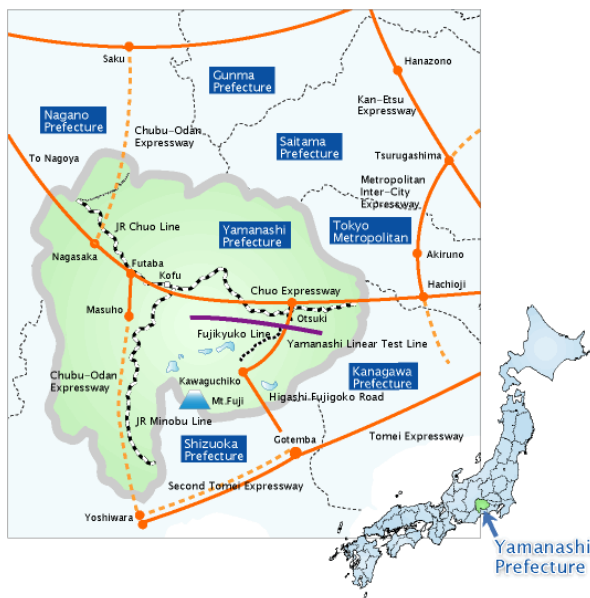
(Submitted by Tamba Sahr Dauda)



## ⑥ Industries of Yamanashi-ken

### 1) Introduction

Yamanashi – Ken is situated near the center of the main island (Honshu). It has an area of 4,465.3 km<sup>2</sup> and 0.83 million population. Kofu is the capital city of Yamanashi prefecture and its located in a geographically important area that surrounded by the Tokyo capital of Japan, Yokohama and Nagoya. Yamanashi prefecture is well noted as an inland industrial prefecture with both advanced technological and traditional industries.



**Figure 1: Location and Logistics**

### 2) Logistics and Infrastructure

Chuo expressway runs through the east-west of Yamanashi-Ken. So, it's easy to access from Tokyo and Nagoya. JR Chuo line also runs through the east-west of Yamanashi-Ken and allows convenient access to both Tokyo and Nagoya. The Linear Chuo shinkansen (bullet train) is expected to start operation in 2027 and will allow travelers to reach Tokyo or Nagoya in one hour.

### 3) Industries

#### a) Type of Industries

These are some major industries in Yamanashi prefecture. Agriculture, food and beverages, traditional industries, semiconductor manufacturing, liquid crystals, robotics, mechanical and electronic-related industries, Jewelry industries.

#### b) Agriculture, natural resources

Yamanashi – ken is popular for the mineral water and wine. Thanks to its mountainous area, the prefecture produces 40% of all mineral water in Japan. The more than 80 wineries located in Katsunuma. 40% of Japan's domestic wine produce in Yamanashi prefecture.

#### c) Manufacturing

The manufacturing industry's shipment value was principally composed of machinery equipment (19.2%), electrical machinery (19.2%), and electronic components (12.3%) in 2011. The prefecture is well-known for the mechanical electronics industry, having the largest share nationally for numerical control devices, and the second largest share for wafer processors, LEDs, etc. Yamanashi is home to large-scale production sites of major manufacturers of syringes, injector needles, transfusion materials, etc., and also contains a concentration of supporting industries, such as industrial plastic precision fabrication and chemical engineering

#### d) R&D, Innovation, Scientific research

The Yamanashi Techno-jewel box project introduces local people and companies with world class cutting edge technologies in many industrial sectors. Also located in the prefecture the Fuel Cells Nanomaterials Center, focusing on fuel cells



R&D using nanotechnology, and the Clean Energy Research Center promoting research on clean technologies.

#### 4) Some of current Industrial sites

- Miyakubo industrial site
- Uenohara industrial site
- Hatta Midai-Minami Industrial Park
- Shimoimai Agro-Industrial Park
- Yamanashi Business Park

(Submitted by Nuwan Senevirathne)

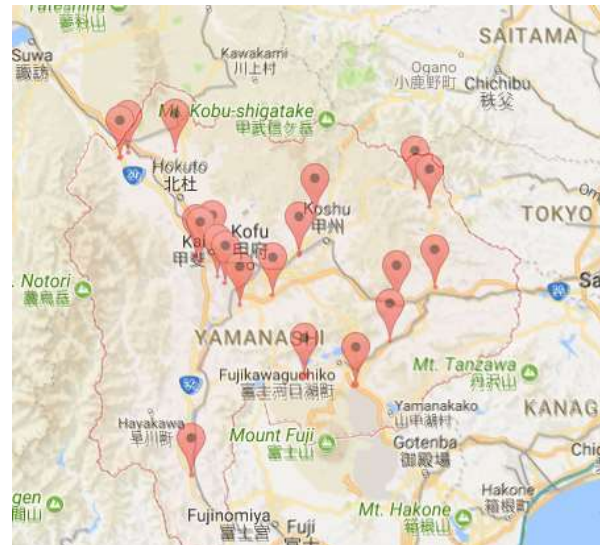


Figure 2: Some Industrial Sites

## ⑦ ぶどうの丘(勝沼)

### 山梨県の紹介

山梨県といえば、やはりこの日本を代表し象徴といっても過言ではない「富士山」が有名である。世界文化遺産にも登録され、ますます誇り高き山となった。

年間日照時間は日本一で降雨量が少ないということとは、山梨はいつも天気がいい、ということである。旅をする上で重要なことは天気に恵まれることであるため、山梨は気持ちよい旅に適した場所ということだろう。夏は暑く冬は寒い、そして気持ちの良い春と夏といった四季のメリハリがあるということは、自然がより美しいことの表れでもある。山に高原に川に谷に、水と緑に恵まれた山梨は、季節にも恵まれて旅のロケーションとして最大級のステージである。楽しみ方は人それぞれだが、海以外の多くをかなえられる場所である。



決まり文句ではあるが「海以外はなんでもあります・山梨」。富士山に登る。川下りをする。パラセールで空を制覇する。高原から滝へウォーキング。高速道路で突っ走る。スキーをする。ウェイクボード、キャンプ、紅葉狩りなど。改めて「良いところだぞ、山梨っ」とガッツポーズを取ってしまうが、確かに迷うほどの選択肢がある。さらにおいしい水と空気、新鮮フルーツ、青い空と美しい山がある。これは「郷土料理体験」「農業体験」「陶芸」「燻製作り」方面にいつてもいいそうだ。見所満載で体験アイテムも豊富だが、要は安心して浸っていただきたい良い所であることが伝わればうれしい。「山紫水明」が山梨を表すことばである。実り豊かな

山河があつて清らかな水がある。自然を表現しているのですが、この際美味しいものがあると直訳する。その地で採れたものはその地で食すのが一番である。名水の地であり、野菜や米、地酒や食肉など名品揃いだ。桃やぶどうがたわわに実る山梨は、フルーツ王国ならではの美味しいものがいっぱいである。



### 山梨の巨峰とワイン

山梨の果実といえば、何といっても「ぶどう」だろう。県内を見渡したほぼ全てのシーンに、ぶどう畑が登場すると言っても過言ではない。四方を山に囲まれた盆地気候は、日照時間が長く降雨が少ない。夏は暑く、冬は寒いです。また名水の里といわれるおいしく豊かな水など、この地に与えられた全ての条件がぶどう栽培の好条件となって、名実ともにフルーツ王国・山梨のぶどうとなる。

近年は次々に新品種も登場し、まさに宝石のように美しいぶどうに出会うことができる。さらに驚くほどのおいしさ！天の与えた二物は生産者の努力の賜物だろう。その美しい果実と、旅情あるぶどう畑の姿も堪能してほしい。これがぶどう狩りの楽しみ方である。

山梨県は日本のワイン発祥の地で、国内のワインの約 3 割を生産している日本を代表するワイン産地だ。県 業し、2005 年の市町村合併以降は甲州市が運営して 内各地に約 80 社のワイナリーがあり、ブドウ栽培から いる。

こだわった甲州ワインは、世界でも評価されている。 現在甲州市には約 30 社のワインメーカーがあり、そ ぶどうが山梨に根付いて 800 年にも及ぶといわれる。 のほとんどが勝沼町およびその周辺に位置している。 ぶどう作りに適した盆地気候はワインづくりにも適した 館内地下のワインカーブでは、甲州市推奨の約 200 土地柄。原種といわれる「甲州種」ぶどうから「甲州ワイ 銘柄のワインの試飲が可能である。そのほか甲府盆地 ン」がつくられた。山梨ワインのベースともいえる、すっ を一望できる展望レストランやバーベキューといった商 きりとさわやかで上品な口当たりは、和食と良く合う美 業施設に加え、イベントホールや美術館といった文化 味しさで、広く人気を得ている。山梨から日本全国に、 施設、さらには湯量豊富な天然温泉と併設された宿泊 そして世界に向けてアピールできる独自の風味が持 施設などもあり、一つの複合施設となっている。

(執筆:張 楠楠)

かつて葡萄酒と呼ばれていた山梨ワインは、時とた ゆまぬ努力により日本を代表するワインになった。国 産ワインコンクールで次々と金賞を受賞した。その実 力にはめざましいものがある。

## ぶどうの丘

山梨県甲州市勝沼町では明治時代より甲州ブドウ を使用した甲州ワインの生産を行っています。そうし たワインを体験できる施設の一つとしてぶどうの丘が





## ■ 駐車場案内図

<p>①山中湖 山梨県南都留郡山中湖村平野 479 電話番号:0555-62-0309</p>	<p>②森の駅「風穴」 山梨県南都留郡富士河口湖町西湖青木ヶ原 2068-1 電話番号:0555-85-2300</p>
	
<p>③印川 山梨県市川三郷町下大鳥居 目印:富士川大橋交差点付近 ※(近隣の施設例として)道の駅「富士川」が本駐車場の600mほど西にあります 山梨県南巨摩郡富士川町青柳町 1655-3 電話番号:0556-48-8700</p>	<p>④ほうとう 山梨県甲斐市玉川 234 電話番号:055-279-5555 目印:ローソン竜王玉川店付近</p>
	
<p>⑤笛吹川フルーツ公園 山梨県山梨市江曾原 1488 電話番号:0553-23-4101</p>	<p>⑥ぶどうの丘 山梨県甲州市勝沼町菱山 5093 電話番号:0553-44-2111</p>
	